

みやぎNN復興だより

第28号 H31.3.11 発行

全国の皆様からの暖かいご支援に心より感謝いたします。

「創造的な復興」へ — 震災から9年目 —



東日本大震災発生から8年が経過しました。全国の皆様からのご支援により、復旧・復興が必要な農地のうち、9割を超える面積の工事が完了しております。

「発展期」を迎えた今年度、山元町では農産物直売所「やまもと夢いちごの郷」が平成31年2月にオープンしました。その店内は復興交付金を活用した農地整備事業により整備された農地で生産された、いちご等の農産物や農産加工品等で彩られています。

これまでの「復旧期」・「再生期」の取り組みがさらに実を結ぶよう、引き続き、「創造的な復興」に向けて取り組んでまいります。

— 復旧・復興の進捗状況 —

項目	(復旧面積等) /(復旧対象面積等)	進捗率	項目	(復旧面積等) /(復旧対象面積等)	進捗率
農地 (除塩含む) 復旧対象面積: 約13,000ha ※年度別完了計画 H23 5,110ha H28 700ha H24 1,920ha H29 262ha H25 3,160ha H30 193ha H26 810ha H31 35ha H27 810ha	 99%	着手 約100% 着手面積: 約12,983ha(H31/1未現在) 完成 約99% 工事完了面積: 約12,832ha(H31/1未現在)	農業用施設 (排水機場) 復旧対象施設: 47施設 ※年度別完了計画 H23 4施設 H28 - H24 6施設 H29 - H25 23施設 H30 2施設 H26 10施設 H31 2施設 H27 -	 93%	着手 約98% 着手施設: 46施設(H31/1未現在) 完成 約93% 工事完了施設: 44施設(H31/1未現在)
津波被災地域における農地整備(新規) 復興対象地区面積: 約4,919ha ※年度別完了計画 H25 164ha H28 442ha H26 1,395ha H29 588ha H27 2,013ha H30 317ha	 94%	着手 約99% 着手面積: 約4,880ha(H31/1未現在) 完成 約94% 工事完了面積: 約4,600ha(H31/1未現在)	農地海岸 復旧対象海岸: 94箇所 ※年度別完了計画 H25 13箇所 H28 8箇所 H26 11箇所 H29 18箇所 H27 12箇所 H30 32箇所	 60%	着手 約98% 着手海岸数: 92箇所(H31/1未現在) 完成 約60% 工事完了海岸数: 56箇所(H31/1未現在)

復興インタビュー ～Vol. 4～

今年8月、震災を契機に新たな営農に取り組んでいる農業経営者の方々にインタビューを行いました。今回の第三弾で最終回になります。

最終回のはじめにご紹介するのは、宮城郡七ヶ浜町七ヶ浜土地改良区（七ヶ浜町）です。インタビューにお答えいただいたのは、理事長の我妻周悦さんです。

Q1. 震災直後、組合員の方はどのような思いを抱いていましたか？

震災直後、車や家の瓦礫が農地に散在している惨状を目の当たりにして、農業の再建を断念せざるを得ないのではないかとという心境にあったと思います。

Q2. 被災後、改良区はどのような取り組みをしましたか？

町の担当課と一緒に何度も協議会を開催し、組合員の代表者から今後の要望や展望についての意向を取りまとめました。

これをもとにして県が中心となって予算確保に奔走していただいたため、今のような将来につながる立派なほ場に生まれ変わったと思います。



位置図



水稲作付状況（H30年8月）



土地改良区管内共同育苗ハウス

Q3. 復興工事も完了に近づき、組合員に気持ちの変化は見られましたか？

震災前には農地面積が小さく、家族で営農していた方々が、震災後の施設や資材の流失により、営農の継続が困難と判断し、約8割の農家が営農を断念しました。その一方で、今後20年、30年継続して営農する意欲のある方が農地の大半を耕作するようになり、農地を委託する人、受託する人の二分化が進みました。

Q4. 5年前と比較して、土地改良区として変化はありましたか？

ほ場の大規模化に伴い、規模拡大を目指している農家にとっては農地集積する契機になりました。行政が進める担い手への農地集積が進んだため、営農者にとってメリットが大きかったのではないかと思います。

しかし、地盤沈下の影響で自然排水が困難になり、動力関係経費が3割から4割増しになってしまったため、これがそのまま農家負担にならないように現在努力中です。

Q5. 新たな取り組みや明るい話題はありますか？

就農意欲の高い方が数人いるので、人材育成にも力を入れながら町の農業を担ってほしいと思います。

また、新しい特産物として西洋野菜のルバーブを、町を挙げて売り出そうとしています。これが進めば農閑期の収入源となり、農家の経営を助けてくれるのではないかと期待しています。

復興インタビュー ～Vol. 5～

次にご紹介するのは、西戸川地区^{さいどがわ}営農組合（南三陸町）です。インタビューにお答えいただいたのは、組合長の阿部壽男さんと担い手の阿部俊幸さん（酪農），星達哉さん（園芸），星恵一さん（和牛繁殖）です。

＜西戸川営農組合のご紹介＞

南三陸町西戸川地区において、地域に残った若い担い手を支えるため、平成24年12月に構成員34名（内役員9名）で設立。

約8haで主食用米・WCS用稲・酒米を生産するほか、ねぎや小松菜，牧草の生産及び酪農，和牛繁殖を行っている。



位置図

Q1. どのような思いで農業を再開しましたか？

（阿部組合長）被災直後の状況を見たとき、正直この地域で生活するのは無理だと思いました。町からは初め、地区外への移転計画が示されましたが、この地で何とかしていきたいという声が聞こえてきたため、この地を再生する方法について、町と協議を重ねました。

その結果、県のほ場整備事業の中で、宅地も含めた集積再分配を行なってはどうかと提案があり、西戸川地区を再生するためにはこれしかないと考え、ここまで進んできました。

Q2. 今後心配なことはありますか？

（阿部組合長）これ以上この地域の過疎化を進めないようにしていくことが課題だと思っています。

Q3. 新たな取り組みや明るい話題はありますか？

（阿部組合長）幸い、担い手として3人の若い就農者が出てきてくれたため、彼らが地域の中心となって支えていくものと期待しています。



住宅用地を含む土地の整序化



小松菜作付状況（H30年8月）

Q4. 今後の展望は？

（阿部俊幸さん）現在営農再開して4年目ですが、今後は加工にも挑戦してみたいと思っています。

（星達哉さん）現在、「古今東北」というブランドの中で、うちの小松菜を使用したかき揚げを作ってもらっているんですが、こういった地域の食材を愛して取り扱ってくれる食品メーカーさんとのネットワークを構築することが出来ました。このネットワークを次の世代にもつなげて行きたいと思います。

（星恵一さん）現在、飼料についてはほとんど他の地域から購入して給与していますが、飼料を自給するようにして、飼育している牛に合った飼料を給与できるようにしたいと思います。

農業農村整備「技術研修会」が行われました

平成31年2月8日(金)、仙台市内で宮城県と宮城県農村振興技術連盟の主催により、平成30年度農業農村整備「技術研修会」を開催しました。

この「技術研修会」は、これまでの農地・農業用施設等の復旧・復興に係る取り組み状況や課題、既存の農業土木技術にとらわれない新工法や創意工夫に関する情報共有を行うもので、9課題の発表があり、特別審査員及び研修会参加者からの投票により「最優秀賞」1課題、「優秀賞」2課題を決定しました。

	課 題 名	発 表 者
最優秀賞	青を緑にするプロジェクト ～農地整備後の地力の見える化、営農技術支援を 目的としたドローンセンシングの取組～	仙台地方振興事務所 技 師 加藤 宏一
優秀賞	大川地区における復旧・復興の問題と課題	東部地方振興事務所 技術主幹 曾田 潔志 (島根県派遣職員)
優秀賞	「登米地域の初期型ほ場整備再生計画」策定の取組	東部地方振興事務所 登米地域事務所 技 師 館山 隆也



発表の様子



受賞者集合写真

今後とも応援をよろしくお願ひします。

宮城県農業農村整備関係部所一覧

県庁農林水産部

農村振興課	022-211-2861
指導班, 企画調整班, 地域計画班, 技術管理班, 広域水利調整班, 農村交流対策班	
農村整備課	022-211-2871
事業経理班, 換地・用地班, ほ場整備班, 農村環境整備班, 防災対策班, 水利施設保全班	
農地復興推進室	022-211-2703
農地復興推進班	

県出先機関

大河原地方振興事務所	農業農村整備部	0224-53-3111
仙台地方振興事務所	農業農村整備部	022-275-9111
北部地方振興事務所	農業農村整備部	0229-91-0701
北部地方振興事務所	栗原地域事務所	農業農村整備部 0228-22-2111
東部地方振興事務所	登米地域事務所	農業農村整備部 0220-22-6111
東部地方振興事務所	農業農村整備部	0225-95-1411
気仙沼地方振興事務所	農業農村整備部	0226-24-2121
王城寺原補償工事事務所		022-345-5175

問い合わせ先:

〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号

宮城県農林水産部農村振興課 電話: 022-211-2861 E-mail: nosonshin@pref.miyagi.lg.jp